

只見瞽女夜話

瞽女ミニコンサート

さらばによりては これはまた
いずれにおろかは あらねども
種々なる利益を たずぬるに

よき新作も なきままに
葛の葉姫の あわれさを
あらあら読みあげ たてまつる

夫に別れ 子に別れ
もとの信太へ 帰らんと
心の裡に 思えども

いや待てしばし わがこころ
今生の名残りに 今一度

童子に乳房を 含ませて
これより信太へ 帰らんと
保名の寝つきを 伺うて
差し足抜き足 忍び足
我が子の寝間へと 急がるる

我が子の寝間にも なりぬれば
眠りし童子を 抱き上げ
目をさましやいの 童子丸
なんぼ頑是が なきとても
母の云うのを よくもきけ

そちの生みなす この母が
人間かえと 思うかえ
まことは信太に棲家なす
春乱菊の花を 迷わする
千年近き 狐ぞえ

(祭文松坂・葛の葉の子別れの段
冒頭より)

昔は繭の出荷が農家の重要な
収入源でしたので、蚕はお蚕さ
まとあがめられました。信州な
どの養蚕業のさかんなところでは、
瞽女唄を聴かせると、良質の生
糸を出すといわれて喜ばれました。

もともと瞽女唄は祝言の唄とし
て家の病人を元気づけ、安産と
子育てを助け、稲作・麦作・綿
作の豊饒をもたらすものと期待
されましたので、信仰心のある
人は娯楽を享受しただけでなく、
瞽女に畏敬の念をいだき、あた
たく迎え入れたのでした。

瞽女という老人の芸能のイ
メージがつきまといますが、彼
女たちも昔は娘時代もあり、若々
しい唄声を響かせていたことを

忘れてはいけません。たとえば、
現代の歌手である宇多田ヒカル
さんの母親の藤圭子さんは瞽女
の子だと言います。幼いころ、
母親に手を引かれて旅をしたそ
うです。そんな情景を思い浮か
べてみると、イメージがすこし
若返るかもしれませんね。そし
てもう一つ、津軽三味線のルー
ツは、越後から渡った瞽女が伝
えた瞽女三味線なのです。津軽
の方は魂が激しく噴き出す感が
ありますが、双方とも

哀愁を帯びた響きを伴
いますね。

昨秋、只見高校から
美術講話を頼まれました
たが、そのなかの一時
間を使つてかつて只見
にも来ていた瞽女につ
いて紹介しました。実
際に長岡在住で小学校
一年のときから小林ハ
ルさん系列の瞽女唄を
習つていて伝承活動を
している若き女性・金
川真美子さんに来てい
ただき三十分ほど生徒



瞽女唄を伝承する金川真美子さん

たちの前で演じてもらいました。
当初、瞽女唄を受け入れてもら
えるか不安でしたが、演者が若
い女性で、しかもふだんは聴き
慣れない三味線と唄声なので、
意外にも心を奪われたようで、
自分たちの近い祖先が聴いてい
た音色に最後までじつと耳を傾
けてくれていました。若い演者
から若い聴衆へ放たれる瞽女唄
の世界に、消えた文化の風がよ
みがえつて見えた瞬間でした。